

# 滋賀県立大学の 学びの体系

学生一人ひとりが興味関心に合わせた学びを追求できます。  
地域や社会との関わりの中で生きるための「知」と「実践力」が養われます。

## 自ら求め、成長する学び

滋賀県立大学には幅広い視野を養う教養・基礎の学びや多彩な分野からなる専門の学び、実際に現場に入り生きた課題と向き合う地域や世界での学びなど、学びのフィールドがキャンパスから地域、世界へと広がっています。大学生活を通してさまざまな学びと出会い、実践し、将来への可能性を広げてください。

持続可能な社会づくりに求められる  
「専門性」と「思いやりの心」を育む

滋賀県立大学は「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」をモットーに、「地域に根ざし、地域に学び、地域に貢献する」人が育つ大学として、これまでに多くの卒業生を輩出してきました。琵琶湖を有する滋賀の豊かな自然と歴史文化に恵まれた環境は、持続可能な社会づくりを学ぶための絶好のキャンパスとテキストを提供してくれています。本学での地域に飛び出した多様な学びを通して、地域の要請に根ざした「地」に足のついた「専門性」と、社会づくりの原点となる他者への「思いやりの心」を育み、持続可能な社会づくりの担い手となってください。



滋賀県立大学 理事長・学長  
井手 慎司

### 大学での学び

自主的に学ぶ力を養いながら、多彩な学部・学科の個性豊かな講義を通じて、専門的な分野について学びます。

### 地域での学び

地域の現場に飛び込んで、生きた課題と向き合い、大学での学びを生かす。大学の外での活動を通して、地域社会に根ざして生きていくために必要な、実践的な力を養います。

### 世界での学び/ 未来への学び

大学で身につけた力は、卒業後のキャリアにつながっています。地域から世界を見る目、世界から地域を俯瞰する目を養います。

主専攻・  
全学共通基礎科目



#### 教養・基礎の学び

幅広い視野を養うために、主専攻の分野に限らず多様な教養を身につけます。

- 人間学
- 全学共通基礎科目
- 地域基礎科目

▶ P.10 Act.01



#### 専門の学び

各学部の目的に沿った個性的な教育を実現するために、1年次から専門科目の講義を受講できます。

▶ P.22



#### 実験・実習 フィールドワーク



▶ P.12 Act.02



#### 地域教育 プログラムについて

目まぐるしく変わり続ける時代を生き抜き、地域社会に貢献していくための能力を養うために、主専攻・副専攻・全学共通科目にまたがって構成される、本学独自のプログラムです。

▶ P.14 Act.03



#### 海外留学・海外研修

国際性を磨くには、実際に海外に出かけ、そこで学び、生活して、文化の違いを肌で実感することが最も効果的です。

▶ P.16 Act.04

副専攻



#### e-PICT(大学院)

地域で活躍する人材の育成を目的とした大学院副専攻ICT実践学座。現場で使えるICT(情報通信技術)の基礎とスキルを身につけます。



#### 近江楽士

地域から学び、主体的に考え、行動し、課題を解決するために必要な「ネットワーク力」、「起業力」を養います。

▶ P.15 Act.03



#### 近江環人 地域再生学座

大学院生・行政・企業・NPOなど、それぞれの立場で地域再生のリーダーとなる資質を養います。

▶ P.15 Act.03

自主活動



**クラブ・サークル** 体育系、文化系の多種多様な活動や他大学・地域とのさまざまな交流が行われています。正課である学業とともに「人間形成の場」として重要な意義を持っています。



▶ P.60



#### 近江楽座

地域活性化に向けて、地域課題の解決に学生が主体的に取り組み、全学的に支援する教育プログラム。学生らしさを生かして地域に学び、育ち、貢献できる場です。

▶ Book in Book



#### キャリアサポート

学生の個性や希望にそった就職の実現を目指し、各学科・専攻の就職指導担当教員と事務局の学生・就職支援課が連携をとりながら、就職情報の提供や各種相談に応じています。

▶ P.18 Act.05



# Act. 01 ▶▶ 他者と関わり養われた「心」で見る、世界の奥深さ 教養・基礎の学び(全学共通科目)

自ら出会い、自ら学ぶ。

## 「人が育つ大学」

人は自ら調べ、考え、行動するなかで学びを得て成長していきます。

みなさんの好奇心を刺激し、学び取る能力の向上を目指して、幅広い分野に触れる機会の提供と、学びのための基礎的な能力を養う授業を全学共通科目で実施しています。



**人間学** 人間と社会を深く見つけ、現実的な問題を通して「人間」という存在を考える中で、主体的に学ぶ力を育てます。必修科目の人間探求学と、「生きる」「考える」「つくる」の3つの科目群からなる多彩な選択必修科目から構成されています。

### 人間探求学 [必修科目]

大学で学ぶということは、自ら課題を見つけ、そこから新たな考えやモノを創造することです。そのためには、自らの考えをわかりやすく伝え、他者の考えをじっくり理解し、共感し、批判し合う能力が必要となります。これらの能力を1年次前期のうちから身につけていきます。



**POINT** 学びの基礎を養う少人数教育

各学科で5・6名のグループに分かれてテーマについて学びます。大学で学ぶための基礎的な能力を養い、教育の原点である人間と人間がふれあう機会の提供をねらいとしています。

### 科目群 [選択必修科目]

#### 生きる

科目群「生きる」では、私たちが動物の一種であるヒトとして、また、複雑な社会の中で暮らしていく人間として、健康で幸福に生きていくための知恵を学びます。

- 講義一例
- 自然のしくみB  
～森林と環境と私たち～
  - 食と健康  
～食を通じた健康との関わり～
  - 生命・人間・倫理  
～人間の尊厳と権利～

#### 考える

科目群「考える」では、空間(環境、地域性など)、時間(歴史、成長など)、構造(自然、人工物など)のような、ものごとを考えるための多様な視点を学びます。

- 講義一例
- 都市・建築を考える  
～川の未来学～
  - 人間関係の科学B  
～コミュニケーションを考える～
  - 異文化理解A  
～英語圏の異文化理解～

#### つくる

科目群「つくる」では、人間と他の生き物の大きな違いである生産活動と創造活動に着目し、衣食住や道具類など、さまざまな「モノ」と人間の関係を学びます。

- 講義一例
- 農業と環境B  
～微生物と生活～
  - 電子社会と人間  
～高度情報化社会の成り立ちと私たちの生活～
  - 比較住居論  
～住まいがたえる世界のくらし～

### 全学共通基礎科目

英語と第二外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語)からなる外国語教育、情報処理教育、保健体育教育の3つの分野で構成しています。



**外国語**  
将来につながる実践的な語学力、異文化と対話する姿勢を学びます。



**情報処理**  
パソコン操作や情報セキュリティなどの情報倫理について学びます。



**保健体育**  
サッカー、バレーボール、フィットネスプログラムなど、多様なスポーツの中から種目を選択できます。

### 地域基礎科目

地域教育プログラムについて詳しくはP.14

地域課題に応える「未来志向の変革力を身につけた人材」を育成するための地域教育プログラムの基礎となる科目です。世界共通の目標でもあるSDGsの視点も踏まえつつ、地域での実践を通して現実起こっている諸問題に創造的に取り組み、変革する能力と態度を養います。



地域共生論でのディスカッション



滋賀県知事による講義



# Act. 02 ▶▶ 学びと経験をつなぐ、価値ある「一歩」 専門の学び（実験・実習 フィールドワーク）

全学部において、地域や社会とのつながりの中で学ぶカリキュラムを豊富に展開。  
講義で学んだ知識を自らの経験として蓄え、実践的な力に変えていきます。

## 環境科学部 環境フィールドワーク

実際に地域環境問題が起きているフィールドに足を運び、調査・解析とプレゼンテーションに必要な能力を身につけます。

- 環境フィールドワーク
- 環境学野外実習
- 環境生態学特別実習
- 集水域環境学・同実験
- 水域環境学・同実験
- 社会調査実習
- 環境マネジメント演習
- アジア・フィールド実習
- 環境政策デザイン論・演習
- 地域産学連携実習
- 木匠塾
- 生物資源管理学実験・実習
- 環境生物学実験

など



## 人間文化学部 環琵琶湖文化論実習

1年次を対象とした、滋賀の歴史や文化、生活を学ぶ実習で、テーマ別に班を編成し、調査から報告書の作成手法までを学びます。

- 環琵琶湖文化論実習
- 考古学実習
- 古文書演習
- 地域社会調査実習
- 地理学実習
- 人間工学実習
- 生活デザイン学外演習
- 栄養教育論実習
- 給食衛生管理実習
- 臨床栄養臨地実習
- 教育観察実習
- 心理・発達・行動学実験演習
- 基礎演習
- 発展演習
- 研究演習

など



- 材料科学実験
- 定量・機器分析および同実験
- 物理学実験
- 分析・環境化学実験
- 卒業研究
- 機械システム工学セミナー
- 機械製作実習
- 機械工学基礎実験
- 機械システム創造実験
- 電子システム工学セミナー
- 電子システム工学実験
- 電気電子設計製図

など



## 工学部 実験・実習

技術者としての基本的技能を体験的に学びます。例えば、身近な工業製品の分解と再組立てを通じて、ものづくりの基本を学びます。

## 人間看護学部 臨地実習

医療・保健・福祉の現場での実習を通して看護援助の基礎的な実践能力を身につけ、人との出会いやふれあいを通して豊かな人間性を育みます。

- 地域生活実習I・II
- 基礎看護学実習I・II
- 在宅療養移行支援実習
- 健康危機回復支援実習
- 緩和ケア実習
- 小児看護学実習
- 母性看護学実習
- 精神看護学実習
- 在宅看護学実習
- 人間看護学統合実習I・II
- 公衆衛生看護学実習（保健師課程）

など

2022年4月より一部の科目が変更されました。





# Act. 03 ▶▶ 地域での学び (地域教育プログラム)

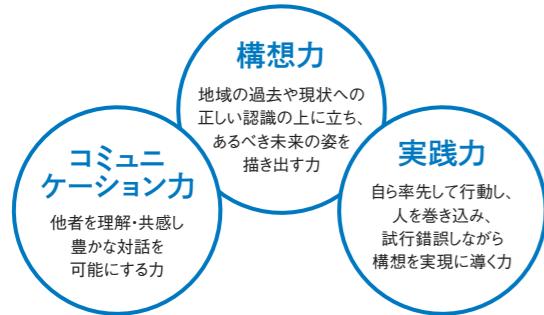
社会の課題を「肌」で感じ、養う変革力



## 身につけるのは、「変革力」

地域や社会の課題に対して、既存概念や常識を打ち破り、新たな価値を創造し未来を開く力「変革力」。「コミュニケーション力」、「構想力」、「実践力」の3つの「力」を鍛えて養います。

### 地域教育で身につける 3つの力と変革力



### 変革力

— 地域や社会の抱える課題に取り組み、未来を拓く力 —

#### TEACHER'S VOICE

### 社会で生きる力を育てる地域教育プログラム

これからの時代に生きる若い世代には、これまでの仕組みの延長線上に自らの能力を磨くだけでなく、変化を時代を生き抜き、持続可能な社会の創造を担う能力と資質を養うことが求められています。地域教育プログラムの受講を通じて、この課題に応える「未来志向の変革力」を身につけましょう。

地域共生センター  
教授 鶴飼 修



▶▶ 地域との学びのSTEP 滋賀県立大学オリジナルの地域とともに学び合う学びのステップで「変革力」を鍛えます。



### ▶▶ 地域との学びを深める副専攻課程

#### 近江楽士(地域学)副専攻

ソーシャル・アントレプレナーコースについて詳しくはP.19

近江楽士(地域学)副専攻は、専門領域を超えて、さらに自身の能力を高めたい未来志向の学生を対象に、全学部全学科生が受講可能な副専攻課程で、これから社会で求められる「ネットワーク力」や「起業力」を身につけます。近江楽士(地域学)副専攻を修了し、所属学部の卒業要件を満たすことで「近江楽士(コミュニティ・ネットワーク)」と「近江楽士(ソーシャル・アントレプレナー)」の称号が付与されます。この称号は、企業等へのインターンシップ活動や就職活動に活用できます。



#### 近江環人地域再生学座 (大学院生・社会人対象)

近江楽士(地域学)副専攻の上位カリキュラム。大学院生・行政・企業・NPOなど、それぞれの立場で地域再生のリーダーとなる資質を有した人材の育成を目指しています。



#### MESSAGE

### コミュニティ・カフェの企画・運営を通して地域の居場所づくりに貢献

授業を通して、彦根市下石寺町でコミュニティ・カフェの企画・運営をしたことが印象に残っています。地元産のお米で作った米粉を活用したスイーツの開発、カフェの空間づくり、広報などを担当しました。大学入学時から「いつか地域住民の居場所づくりをしたい」と考えていたので、貴重な機会をいただけて嬉しく思いました。現在は多賀町の地域おこし協力隊として大滝地区で活動を行っています。地元の方々に地域の価値を再発見してもらい、今後も活動に関わっていきたくです。

環境科学部 環境政策・計画学科  
2019年度卒業  
環境科学研究科 環境計画学専攻  
2021年度修了  
朝比奈 遥さん



近江楽士  
履修しました



# Act. 04 ▶▶ 世界での学び

しなやかな「翼」が叶える世界への跳躍

琵琶湖というキャンパスで学んだ地域や社会への貢献をグローバルな地域でも実践できる人の育成を目指し、世界の大学とさまざまな交流プログラムを行っています。

CHECK MORE!  
詳しい情報や留学生体験記は公式サイトをチェック!



## STUDENT'S VOICE

### 違いを認めあう文化が自分らしく生きる力を育ててくれました

小学生の頃に行ったハワイ旅行を機に、海外に興味をもつように。異文化を肌で感じたいという思いが強く、留学先に選んだのは多民族の国、アメリカです。ミズーリ州のコロンビアカレッジには、さまざまな国籍の学生が在籍し、人種の異なるクラスメイトの存在が「他者との違いを受け入れる」ということを教えてくれました。多民族国家のアメリカは信仰宗教もさまざまです。宗教に熱心な人も多く、何気なく訪れた教会で大勢の方が涙を流しながら祈りをささげる姿は、強く印象に残っています。何かを深く愛することができるのは、その何かについて深く理解しているから。互いに語り合い認め合うことができる国民性が育まれる理由を知った気がしました。留学当初、英語に自信がなかった私に対し、誰も否定せず当たり前のように入力してくれたことが自分らしく生きる強さになりました。日本を出なければ触れられなかった世界。これからはその経験を生かし、外国や日本の子どもたちにそれぞれの国の文化を伝える活動に携わってみたいと考えています。



人間文化学部 国際コミュニケーション学科 4回生  
足立 千景さん

## 長期留学

### ▶ 交換留学

大学同士の交流協定に基づいて、相互に学生を派遣・受入する制度です。期間は基本的に5か月から1年間で、学内での選考により派遣学生が決定されます。派遣先での授業料の納付が不要で、本学からの助成金あるいは授業料減免制度の対象です。

### ▶ 派遣留学

国際コミュニケーション学科独自の制度で、欧米圏の派遣留学協定締結校へ3か月から1年間留学するものです。交換留学と異なり、留学先大学での授業料を支払う必要があります。本学からの助成金あるいは授業料減免制度の対象です。

### ▶ 認定留学

提携大学以外(協定を結んでいない大学)で、提携大学への留学と同等以上の効果が期待できると学長が認定した大学等(認定大学)への留学です。留学先で得た単位が本学での審議により認められることが可能ですが、出願、入学手続きは自分で行い、費用もすべて自分で支払います。本学からの助成金あるいは授業料減免制度の対象です。

### 【留学のポイント】

- 1 留学制度を活用することで4年での卒業も可能
- 2 留学先で取得した単位の認定・読替が可能
- 3 留学助成金やJASSO奨学金の申請が可能

## 短期留学

### ▶ 短期海外研修

夏季や春季の長期休業期間中を利用した約1か月の留学です。具体的な留学先は決まっておらず、自分で海外の大学で実施している3週間程度のプログラムを探し、留学します。

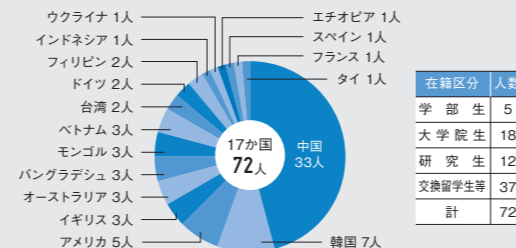
### ▶ 人間学「異文化理解」

人間学について詳しくはP.11

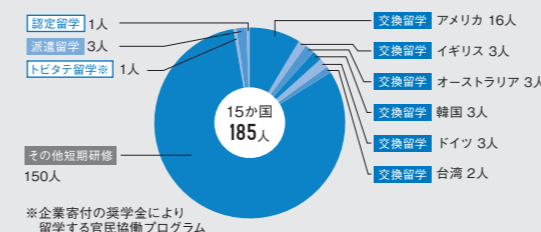
本学の特色である「人間学」科目のひとつで、夏季休業中の3週間、英語圏で語学コースを受講します。

## 留学生数

### 海外から滋賀県立大学へ(2024年3月時点)



### 滋賀県立大学から海外へ(2024年3月時点)

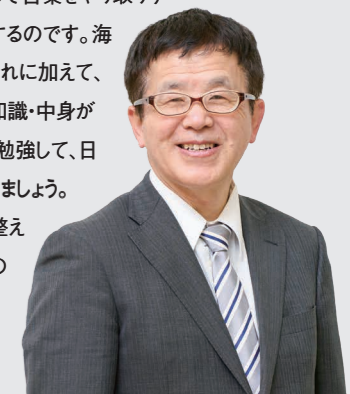


## TEACHER'S VOICE

### 海外で友人を作りともに成長しよう

海外留学は、実際に現地で生活して、異国のの人々に出会い、情報を交換し親交を深めることに意味があります。それらの人々からは、日本の歴史・地理・政治などについて聞かれ意見を求められます。皆さんは、それに応じて言葉を取り取りすることで、海外の生の情報と友情・信頼を得て成長するのです。海外留学に際しては、語学力はもちろん重要ですが、それに加えて、異国のの人々の中に入っていく勇気と日本人としての知識・中身が問われます。留学先だけでなく、日本のこともしっかり勉強して、日本という国に対する自分の思いや考えを整理しておきましょう。本学では、教職員が一体となったりリスク管理体制を整えて、留学する皆さんをサポートします。皆さんが、世界の友人とともに次の時代を作る人材となることを願っています。

教育・学生支援担当理事/副学長 小泉 尚嗣





# Act. 05 ▶▶ 未来への学び

夢をつかむその「手」に力を

## 卒業生 INTERVIEW

就職活動について  
語っていただきました。

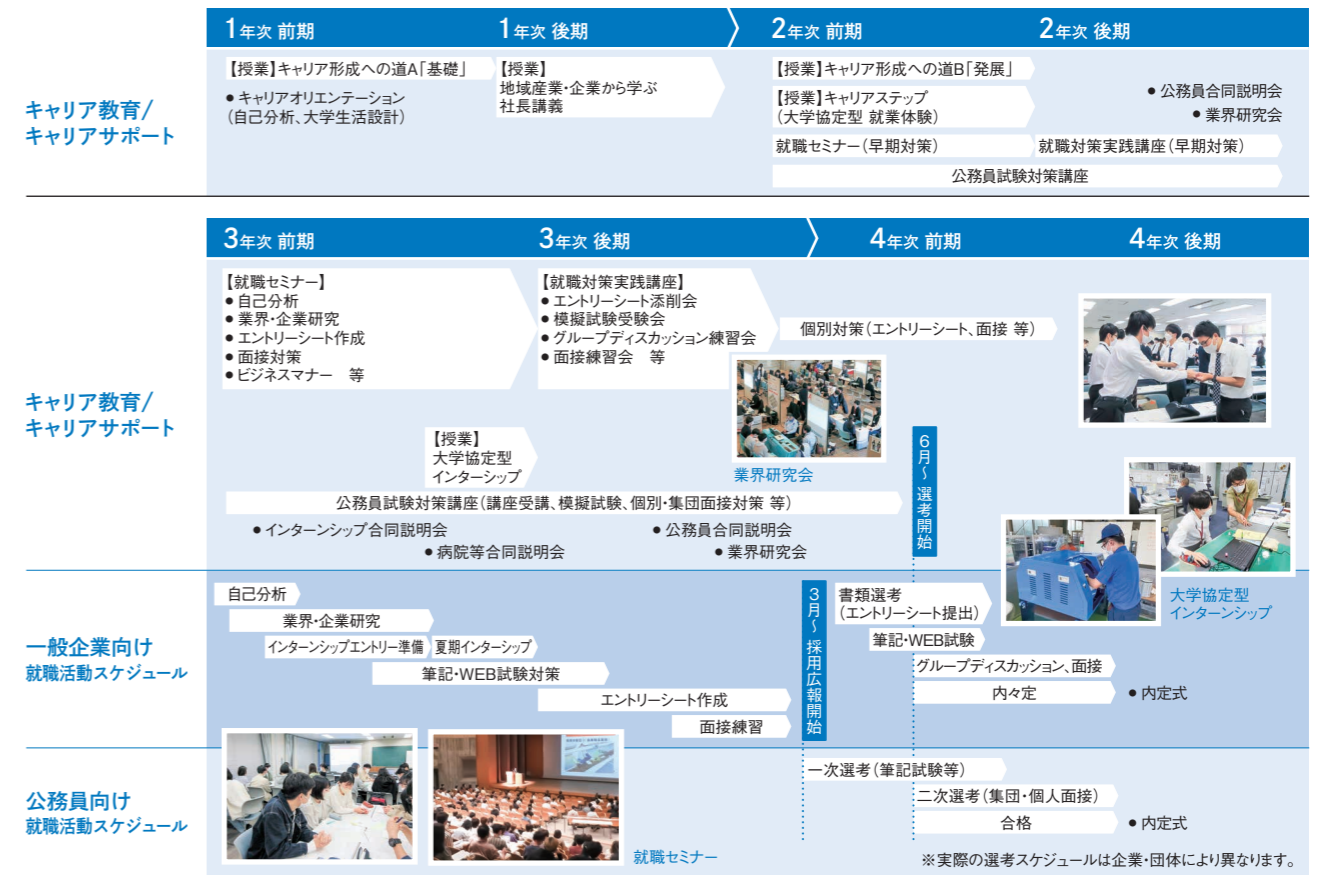


### 大学の手厚いサポートを受けて 短い時間でも第一志望に入社できました

私は、就職活動にあたり、製品開発系であること、地域のまちづくりに貢献できることの2軸で企業を調べていました。まちづくりに興味を持ったきっかけは大学祭実行委員会の活動です。大学祭を通じてまちを盛り上げる話を聞き、自分の専門である機械系からはどうアプローチできるか考えるようになりました。そんな折に、公共の場の製品を製作している積水樹脂株式会社を知りました。工場見学で街が丸ごと自社製品でつくられている光景を見て、まちづくりができると感じたことが志望の決め手です。また、私が学んでいた材料力学研究室での専門分野も、製品開発における強度試験にぴったり生かせそうだと感じました。私は就職活動の開始が遅かったこともあり、キャリアデザイン室に大変お世話になりました。豊富な求人情報にエントリーシートに添削。特に図書情報センターのオンライン面接用のブースはありがたく、背景や回線の不安なく面接に挑むことができました。他にも研究室の先生や先輩、職員の方々の助けを借りながら、1カ月という短期間で内定をいただくことができました。入社後もいろいろな方に支えられ、助けられることが多くあると思います。どんな状況でも感謝を忘れないようにしつつ、しっかりと意思表示ができるような社会人になりたいと考えています。

**積水樹脂株式会社**  
小林 謙太郎さん 工学部 機械システム工学科 2023年度卒業

**主なキャリアサポート** 1年次から4年次まで体系的なプログラムを実施。一人ひとりに応じたきめ細かなキャリアサポートに取り組んでいます。



### ● キャリア教育(1~4年次対象)

キャリアデザインの描き方や地元企業の社長による講演など、早期から自分のキャリア(仕事や日常生活)を考えることで、将来に向けて充実した学生生活を送ることができます。

#### キャリア形成の道A「基礎」

社会的基礎力の醸成に重点を置き、大学生や社会人として必要な知識を習得しながら、自らのキャリアと今後の大学生活の在り方を考える機会とします。

#### 地域産業・企業から学ぶ 社長講義

地元経済界の最前線で活躍されている企業の社長によるリレー講義。学生に期待される社会での能力や人物像について、さまざまな角度から語っていただきます。

#### キャリア形成への道B「発展」

社会人基礎力の更なる醸成を図るとともに、インターンシップ参加や就職活動を想定した講義により必要な知識・技能について学び、並行して実施する就職セミナー等への参加や夏季インターンシップへの参加に向けての心構え、準備を行います。

### ● キャリアサポート(2年次・3年次・院1年次対象)

**就職セミナー**  
プロのキャリアコンサルタントによる、年間十数回のセミナーを通して、最新の就職活動の流れや注意点、企業が求める人材像を学びます。

#### 各種合同説明会

本学では、業界・企業・団体研究の観点から、以下の合同説明会を実施しております。  
 • 業界研究会(一般企業120社参加・1月頃開催)  
 • 公務員合同説明会(国家・地方団体が参加・12月頃開催)  
 • 病院等合同説明会(県内病院が参加・6月頃開催)  
 • インターンシップ合同説明会(一般企業、国家・地方団体が参加・5月頃開催)

### キャリアデザイン室

就職相談員が常駐し、キャリア形成や進路相談など随時相談に応じています。本学卒業生の進路・就職データ、先輩の就職活動報告書、先輩のエントリーシートなど本学オリジナルの情報を閲覧できます。また、就職関係の図書もあり、エントリーシート、面接、公務員試験対策等、幅広いラインナップを揃えています。

## 就職率

(2023年度実績)

全体

# 98.4%

環境科学部 ..... 99.2%

環境生態学科 ..... 100.0%  
 環境政策・計画学科 ..... 100.0%  
 環境建築デザイン学科 ..... 97.1%  
 生物資源管理学科 ..... 100.0%

工学部 ..... 98.3%

材料化学科 ..... 100.0%  
 機械システム工学科 ..... 100.0%  
 電子システム工学科 ..... 95.7%

人間文化学部 ..... 97.2%

地域文化学科 ..... 98.1%  
 生活デザイン学科 ..... 96.2%  
 生活栄養学科 ..... 100.0%  
 人間関係学科 ..... 94.1%  
 国際コミュニケーション学科 ..... 97.7%

人間看護学部 ..... 100.0%

人間看護学科 ..... 100.0%

ビジネスの観点を持って地域で活躍する人を育てる

### 近江楽士(地域学)副専攻 「ソーシャル・アントレプレナーコース」

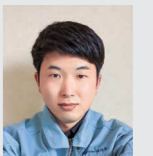
ビジネスの発想と手法によって地域課題を解決に導く起業家的人材や、起業家精神をもって地元企業等でリーダーシップを発揮する人材を育成する副専攻課程です。

近江楽士(地域学)副専攻について詳しくはP.15

### MESSAGE

#### 専門領域以外の経営についての学びは、得難い経験に

昨今、変化が激しく予測が難しい社会情勢となっています。さまざまな進路を歩むにしても社会に出ると経営学やお金、経済の知識が必要となります。「ソーシャル・アントレプレナーコース」はこうしたことの基礎を学ぶ場としてオススメです是非受講してみてください。いかがでしょうか。



株式会社マルヨシ近江茶

大賀 雄介さん 環境科学部 環境生態学科 2018年度卒業